

## 市町村との連携による特色ある学校づくりの事例

## 1 本県の事例

## ○ 遊佐高校〔町と連携した長期インターンシップ「デュアル実践」(H28～)〕

内容	・2年次選択科目として実施 ・毎週1日、遊佐町内の協力事業所で長期インターンシップ(4月～10月)
町の役割	・町、町商工会等による「運営委員会」を組織 ・町、町商工会が学校と協力事業所をつなぐコーディネーター役で協力
効果など	・学校は生徒の望ましい職業観・勤労観の養成、事業所は雇用確保、町は若者の地元定着につなげる三者相互にメリット。これまで51名中9名が関連就職。

## ○ 小国高校〔コミュニティ・スクールの仕組みを活用した「白い森人創生プロジェクト」〕

内容	・町内中学校との連携型中高一貫教育の実施(H13～) 保小中高一貫教育を推進 ・学校運営協議会の設置(コミュニティ・スクール)(H29～) ・文科省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」(R1～R3)
町の役割	・町がコンソーシアムの管理団体：町、山大、森林組合、農業者協議会、地元企業等 ・地元産業界等での長期インターンシップへの協力
効果等	・生徒が町の地域課題について解決策を検討し、発表から実践まで展開

## ○ 地元自治体からの支援の事例

生徒募集	・就学支援金(白鷹町、遊佐町)
教育活動	・介護資格取得(白鷹町、最上町、遊佐町) ・修学旅行補助(金山町、小国町)
通学	・土日祝日のバス運行(河北町) ・通学タクシーの運行(遊佐町) ・通学費用等の一部補助(大江町、真室川町、金山町)

## 2 他県の実例

## 北海道〔高等学校OPENプロジェクトの取組(H30～)〕

- ・基幹産業を支える人材や地域を守り支えていく人材を育成するための事業
- ・道立高校15校を指定(普通科6校、職業学科9校)
- ・市町村、企業、地域関係者、小中学校と連携・協働し、高校生が当事者意識を持ちながら、地域課題の解決に向けた取組を研究・提案し、実践まで実施

## 広島県〔魅力ある高校づくり推進事業の取組(H26～)〕

- ・1学年1学級規模校(11校)に「学校活性化協議会」を設置し、活性化策を検討・実施
- ・地域・市町と連携し、生徒・保護者のニーズに応える魅力ある取組や学校の特色を生かした教育活動を地域と一体となって実施
- ・地元自治体支援の例(大崎上島町)…町営塾、寮の設置と下宿費補助、研究活動支援